

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	輪島市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	輪島市文化財総合活用計画		
4 実施計画期間	平成 28 年度 ～ 平成 29 年度		
5 実施計画の概要			
<p>「輪島市総合計画（後期基本計画）」（平成24年策定）は、地域固有の歴史文化資産の保存整備・活用、長い歴史を持つ伝統文化・芸能・行事に裏打ちされた「輪島市らしさ」を継承し、輪島市らしい地域づくりを目指すことを基本方針としている。これに基づき、「歴史文化資産」の保存・活用し、「輪島市らしさ」を市内外に伝えることにより、住民の郷土への誇りを醸成し、地域活性化の促進を図るのみならず、その継承と発展につなげるため、下記の取組みを実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 時国家文書調査・研究事業 2. 上時国家文書調査・研究事業 3. 角海家文書調査・研究事業 4. 曹洞宗大本山總持寺文書調査・研究事業 <p>輪島市総合計画（後期基本計画）は別添のとおり（※該当部のみ添付）</p>			
6 実施体制			
<p>本事業においては、輪島市教育委員会事務局文化課を担当課とし、全体計画の企画、調整、事業の指導を行う。また、事業の実施は、次の団体が行う。</p> <p>輪島市文化財総合活用実行委員会（委員長：輪島市教育委員会教育長 吉岡邦男） 構成団体（輪島市文化財保護審議会、輪島市、輪島市教育委員会）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果	別紙①のとおり		
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 48,259 千円	平成29年度申請額： 21,156 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>若年層をはじめとする市民の、地域の歴史や文化、歴史文化資産に対する認識が深まることで、郷土への誇りが醸成されるとともに、歴史文化資産の適切な保存と活用がなされ、次世代への継承につながる。また、世代間、地域間を問わず人々の交流の場が創出され、地域の活性化にも寄与する。さらに、行政と文化財保護団体、民間まちづくり団体の連携が一層強化される。ひいては、地域の雇用創出し、際立たせることにつながる。同様に、地域の魅力が向上することにより、来訪者の増加が期待でき、その魅力発信により効果的な誘客促進、地域活性化を図ることができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	本事業で作成したパンフレット等は、市内の学校や各地区会館、公民館、観光案内所、事業所、旅館、各種団体等や観光イベント会場で配布する。		
事業概要：	調査研究事業により得た情報は、講座や説明会、市の広報紙で可能な限り提供する。		
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
平成30年度を目途に、歴史文化基本構想の作成を検討する。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	輪島市教育委員会事務局文化課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	その他					
評価指標区分 1 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	セミナーの参加者			関連事業 :	①、②、③、④	
目標値 1 :	平成 28 年度		120 名	⇒	平成 29 年度 120 名	
設定根拠 1 :	同数で設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
名	名	名	名	名	名	

事業④：	大本山總持寺祖院文書調査・研究		実施団体：	大本山總持寺祖院古文書研究会			
事業区分：	調査研究		事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 29 年度			
事業概要：	曹洞宗大本山總持寺は、約 700 年前に瑩山紹瑾禪師によって開創され、幕末には全国に約 18,000 余の末寺を数えるまでになった。明治 31 年に火災により伽藍の大部分を焼失の後、横浜鶴見へその中心を移すこととなった。能登の寺院（祖院）には火災を免れた約 30,000 におよぶ古文書があり、総合的に保存・活用していくため資料の調査・研究事業を実施する。						
評価指標区分：	(リストから選択してください。)			(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	ワークショップ、セミナー等を開催し、地元住民等に参加してもらい郷土の歴史文化の振興を図る。(自主設定目標)						
目標値：	平成 28 年度		30 名	⇒	平成 29 年度		30 名
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
名	名	名	名	名	名	名	